

平成 29 年度文化財保護行政 事業計画

[社会教育課文化財係所管]

1 埋蔵文化財発掘調査事業

(1) 市内遺跡発掘調査事業

- ①国営緊急農地再編整備事業「亀岡中部地区」関係遺跡発掘調査
- ②篠窯業生産遺跡群詳細分布調査（整理報告：報告書刊行）

(2) 受託事業発掘調査

- ①篠窯業生産遺跡群発掘調査－（仮称）亀岡市篠地区企業用地土地区画整理事業－
（整理報告：報告書刊行）

2 史跡丹波国分寺跡附八幡神社跡 歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業

- ・史跡丹波国分寺跡整備検討委員会
- ・環境整備工事：中門南面西回廊基壇 立体表示
- ・平成 30 年度環境整備工事の実施設計

3 史跡丹波国分寺跡附八幡神社跡 史跡追加指定

史跡指定 昭和 3 年 2 月 17 日 内務省告示第 27 号)

追加指定 平成 18 年 1 月 26 日 (文部科学省告示第 9 号)

追加指定 平成 29 年 6 月 16 日 (文化審議会答申)

- ・史跡追加指定意見具申書 提出 (平成 29 年 7 月)
- (1) 既指定地 京都府亀岡市千歳町国分桜久保 25 番他 1 5 4 筆等
面積 7 3, 9 8 8. 9 8 m²
- (2) 追加指定地 京都府亀岡市千歳町国分相模 23 番 1 他 2 筆等

4 天然記念物緊急調査事業

- ・生息状況調査 生息状況調査 (モニタリング調査)
- ・減少原因調査 (外来魚調査)

〈天然記念物保護活動等〉

- ①アユモドキ保護活動 (京都大学・環境政策課・NPO 等)
- ②アユモドキ生息状況調査・繁殖状況調査の実施協力
- ③ファブリダム稼働に伴うアユモドキ救出活動
- ④渇水によるアユモドキ救出活動
- ⑤ブラックバス等外来魚駆除活動
- ⑥保津地域アユモドキ保全協議会 (環境政策課)
- ⑦淀川水系アユモドキ連絡協議会 (環境省近畿地方環境事務所所管)

⑧オオサンショウウオ保護活動

5 連絡協議会等参加

- ①全国史跡整備市町村連絡協議会
- ② 同 近畿地区連絡協議会

6 日本遺産

- ・(仮称)日本遺産認定をめざす推進協議会の設置
- ・日本遺産申請(平成30年1月)

7 文化遺産総合活用推進事業(文化庁補助事業:旧文化遺産を活かした地域活性化事業)

事業名称『亀岡市文化遺産総合活用活性化事業』

事業主体 地域資源活用実行委員会(事務局 社会教育課)

①亀岡祭活用活性化事業

三輪山懸装幕(水引2枚の内1枚)修理

浦島山躯体部修理

②普及啓発事業 フォーラムの開催

8 亀岡祭山鉾行事検討会議

- ・平成29年度 懸装品等修理手法の検討
(武内山見送幕新調・三輪山水引幕修理)
- ・平成30年度以降 懸装品等修理手法の検討

9 文化財保存修理・維持管理事業

- ①国指定文化財保存修理事業
- ②国指定文化財維持管理事業
- ③京都府指定・登録文化財保存修理事業
- ④京都府指定・登録文化財等維持管理事業
- ⑤京都府社寺等文化資料保全事業
- ⑥文化財を守り伝える京都府基金
- ⑦亀岡市社寺等文化資料保全事業
- ⑧亀岡市指定文化財等保存修理事業

10 史跡等の保存活用事業

- ①史跡丹波国分寺跡公有地 管理保全事業(国分区委託・障害者支援施設みずのき)
- ②史跡千歳車塚古墳公有地 管理保全事業(出雲区委託)
- ③観音芝廃寺史跡公園 管理保全事業
- ④狐塚古墳 管理保全事業

⑤山伏塚 管理保全事業

⑥国分寺建造物群（本堂・山門・鐘楼） 管理保全事業

11 文化財係所管施設の管理

①千歳収蔵庫 ②一の宮文化財事務所 ③大井文化財事務所

12 文化財保護団体等への支援・協力

①石田梅岩先生顕彰会活動事業・亀岡先人顕彰会活動事業（支援、後援）

②「文化財防火デー」防災訓練及び防火査察

文化資料館平成 29 年度事業

1、展示事業

(1) 常設展 <有料>

展示室 1 にて、「亀岡の歴史と文化」をテーマに、亀岡地域にゆかりの考古・民俗・歴史・自然関係の各種資料を展示。(特別展開催時および展示替期間中は閉展)
展示テーマごとの解説リーフレットを無料配布しています。

(2) 特別展 <有料>

展示室 1・2 を使って開催。(特別展開催中は、常設展は閉展)

第 33 回特別展

米づくりへの挑戦—^{なびかしげすけ}並河成資と農林 1 号—

開催期間：平成 29 年 7 月 22 日 (土)
～平成 29 年 9 月 3 日 (日)

普及事業：講演会 (1 回)、フィールドワーク (1 回)、紙芝居上演 (1 回)、
展示解説 (3 回)

● 開催趣旨

日本人の食生活に欠かせない米。時代とともに変化する米の栽培への努力と工夫を、米作りの道具などをもとに紹介します。さらに、亀岡出身の農林技師 並河成資が、昭和 6 年 (1931) に育成した「水稻農林 1 号」は、その後のコシヒカリなど現在の栽培品種の元となる、品種改良の歴史の中でも特筆すべき稲となりました。平成 29 年 (2017) が、並河成資の生誕 120 年、没 80 年の節目の年にあたることを受けて、近代の米の品種改良の歴史に大きな足跡を残した、ふるさとの先人の業績についても紹介します。

(3) 企画展 <有料>

展示室 2 で開催し、常設展と同時開催。

第 62 回企画展

亀岡の土から生まれた！—響きあう造形美—

開催期間：平成 29 年 10 月 28 日 (土)
～平成 29 年 12 月 3 日 (日)

普及事業：講演会、展示解説などを予定

● 開催趣旨

亀岡盆地には、多くの遺跡や遺構が、土の下に眠っています。古墳や遺跡から出土する埴輪や焼き物の他、篠窯業生産遺跡群からは数多くの須恵器や瓦が見つかります。本展では、これまでの多くの発掘調査の成果をもとに、土による古代人の造形美を紹介するとともに、古代の出土品の意匠に触れた現代の造形作家が、篠窯業生産遺跡で採取した粘土を使って創作した作品も展示します。

第 63 回企画展

丹波弓箭組ー弓射連中から山陰道鎮撫隊へー

開催期間：平成30年2月3日（土）
～平成30年3月11日（日）
普及事業：講演会、展示解説などを予定

●開催趣旨

丹波国の桑田・船井郡一带を中心に、弓を射る営みを通じてつながりを保ち続けた弓射連中がいました。それらの人びとは、慶応4年（1868）の戊辰戦争時に新政府鎮圧軍として

馬路村に駐留した西園寺公望の元に集まり、「弓箭組」と命名され山陰道鎮撫使に随行することになります。

平成30年（2018）は、明治維新から150年の年です。激動する時代に直面し、彼らはどのような経過を経て「弓箭組」を組織し、何を考え行動したのでしょうか。そしてその後は…。弓箭組を追いかけるとともに、明治維新の亀岡にも視線を向けます。

(4) ロビー展 <無料>

エントランスを入ったロビーで、季節ごとに小さな展示会を開催します。

平成29年度

展示会名	開催時期
サカナの世界・アユモドキの飼育展示	通年開催
五月人形	平成29年4月10日（木）～6月4日（日）
明智光秀展	平成29年4月29日（土）～6月4日（日）
桜石	平成29年6月3日（土）～7月27日（木）
戦争・平和展2017	平成29年8月1日（火）～8月31日（木）
亀岡祭	平成29年10月（予定）
ひなまつり	平成30年3月（予定）

2、普及活動事業

(1) 連続文化財講座 <無料>

（地域で活動する諸団体や大学との連携による開催を調整中）

(2) 子ども歴史教室 <会員制・実費負担>

市内在住の小学生とその保護者を対象に、会員制で年間通じての体験プログラムを設定し、地元亀岡の自然や文化・歴史を親子で楽しみながら学習することを目指しています。今年度も、「農作業を通じて、親子で自然に親しみ、アユモドキを見守ろう！」をテーマに開催します。

平成29年度の活動

のどかめ親子のアユモドキ見守り隊29 <会員登録7組19人>

日付	事業内容	活動場所	参加人数
平29.6.10(土)	開校式・田植えとアユモドキのお話	保津町のたんぼ	5組13人
平29.7.8(土)	お堀でバス・ギル退治!	当館・南郷公園	5組17人

平 29.8.5(土)	川遊びと工作と流しそうめん	当館・雑水川	
平 29.10.7(土)	稲刈り	保津町のたんぼ	
平 29.12.2(土)	閉講式・収穫祭	保津ヶ丘文化センター	

主催：亀岡市文化資料館・亀岡青年会議所

協力：NPO 亀岡人と自然のネットワーク、保津町自治会、農事組合法人ほづ、京都学園
大学生きものふれあい隊

(3) 演劇教室「ぶどうの会」 <会員制・実費負担>

社会教育活動に熱心に取り組んでこられ、郷土史研究でも多くの業績をのこされた故福知正温氏の遺志をついで、平成 20 年から毎年、演劇集団 土「ど」の協力を得て、子ども向けの演劇講座を、当館で開催しています。これまで、kyoto演劇フェスティバル(於、京都府立文化芸術会館)などでの公演や、自分たちでシナリオを創作してきました。

平成 28 年度実績

発表会：平成29年3月19日(日) /会場：亀岡市役所市民ホール(来場者74人)

タイトル：「ハックルベリーにさよならを」

出 演 ぶどうの会の子どもたち(小学生4人、中学生4人) 演劇指導 増田浩さん(演劇
集団 土)

平成29年度

体験会5月11日(木)。5月25日(木)から毎月第2・第4木曜日に練習。午後6時30分～8時

今年も舞台発表を目指して練習中。(小学生3人、中学生4人)